

第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
 場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

No.	分野	発言の要旨	県の考え方
1	安心1	○防災行動定着促進事業について ・こども達がトラウマにならない程度に、見て学べるツールを開発してほしい。	本ツールは、県民が住所や年齢、家族構成、住宅構造等をウェブ上で入力することで、個人ごとの被災シナリオを生成AIにより動画にするものです。また、動画だけでなく、個々の状況に応じた日頃の備えや避難行動のアドバイスも提示し、防災意識の向上につなげることを目的としています。 学校での利用も想定されることもあり、発災時の状況を動画にする際は、過度に恐怖心を煽るような表現は避けつつ、早期避難や家具固定などの重要性が直感的に伝わるものになるよう、検討しながら制作していきたいと考えています。
2	安心1	○防災航空隊機能強化事業について ・佐賀関大火や林野火災が頻発している昨今、ジェットシューター等での人力による消火は限界があり、消防団の消火活動も過酷。消火タンク等を整備し、防災ヘリコプターの消防能力を強化することは必須。	機体に直接固定する消火タンクは、飛行経路の制限がなく、飛行速度も速いので、より多く散水による消火活動を実施できるという利点があります。気象条件や現場（火点）と水源の距離などに応じて、消火タンクと消火バケットを使い分けながら、消火活動を行っていきます。 一方で、大規模火災等へ対応するには、防災ヘリでの空中消火のみならず、ジェットシューター等を用いた人力での消火活動も含め、地上での消火活動が必要不可欠であり、引き続き、消防隊員や地元消防団等が実施する地上消火と連携しながら、県民の皆様の安全・安心を守るべく、林野火災対策に取り組んでいきます。
3	安心2	○公共交通利用促進事業について ・バス無料デーの実施への経費助成を計上されているが、地域に住んでいると公共交通機関の発着時間や本数、目的地へのアクセスが悪く、利用しやすさも重要になってくる。	公共交通機関の本数は限られるため、利用者のニーズに合わせた工夫が重要と考えています。 運行ダイヤの調整、バスの運行状況のgooglemap表示、JRとバスの接続改善など、交通事業者と連携して利便性を高めていきたいと考えています。
4	安心2	○公共交通促進事業について ・公共交通の維持・確保は県民にとって非常に重要な課題だが、特に知的障がいのある人にとっても大きな意味がある。知的障がいのある人が一般就労を目指す際にネックになるのが、通勤問題。就労訓練過程では、施設の送迎車での通所・帰宅をしており、自力通勤に不安を感じて就職機会を狭めている状況が続いている。 県では、全国に先駆けて知的障がいのある人と支援者向けに乗車支援マニュアルを発行しているので、支援学校や施設利用者の方へ公共交通を利用するきっかけづくりのツールとして、活用できないか。	障がい者を含めた誰もが安心して利用できる公共交通の実現に向け、福祉部局、教育部局と連携して交通施策を多角的に展開しています。 公共交通利用促進事業では、令和6年度にバス無料デーを実施し、大変好評だったことから、令和8年度も実施予定であり、こうした機会に、特別支援学校の生徒や福祉施設をご利用の方にもバスに乗るきっかけを提供できるよう、実施時期等の詳細決定後、学校や施設にも案内します。 引き続き、障がいをお持ちの方々の就労環境と移動環境の向上を一体的に推進していきます。

## 第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

5	安心2	<p>○公共交通促進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年前に、大分経済同友会から大分県に提言をした中で、「大分県民の日」を通じた地元愛の醸成と大分への定着を提言されていた。11月14日の県民の日にはバス無料デーを実施したり、県民の県内宿泊をする、県内移動をすることを実現する日にするのもよいかと思った。</li> </ul>	<p>バス無料デーに加えて、公共交通機関を利用する度にポイントがたまり景品が当たるポイントラリーを開催するなど、総合的な公共交通利用促進キャンペーンを展開していきます。</p> <p>キャンペーンの具体的な実施時期については、より多くの県民に利用してもらいやすい時期を交通事業者等と調整していきます。</p>
6	安心2	<p>○公共交通の利用促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの削減の観点で、公共交通期間の利用促進は非常に重要。そういった中で、県下一斉スマートムーブデーの実施や1日バス無料デーの実施が別事業として展開されているので、いろんな関連事業を一体化してコストパフォーマンスを上げることが必要だと考える。</li> </ul>	<p>県下一斉スマートムーブデーは企業等を通して働きかける主に平日を利用した取組であり、通勤における公共交通機関の利用促進を図ります。また、バス無料デーはバスの良さを知ってもらう趣旨で休日に実施するものです。</p> <p>両事業とも、地球温暖化防止月間である12月を念頭に、公共交通機関の利用促進を図っていく方針としており、両事業を関連した取組と位置づけて県民への周知広報に取り組むこととしています。スマートムーブキャンペーン、バス無料デー、ともに地域企業と協力しながら12月中に実施したいと考えています。</p>
7	安心3	<p>○おおいたこどもまんなか応援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターを活用した子育て応援キャンペーンの実施とあるが、キャラクターに支払う予算がわからず、その必要性があるのかも不透明。</li> <li>・また父親向け子育て情報誌の更新も、紙媒体だけでなく、サイト作成やAIチャットボットで分からないことや不安解消に繋げる方が良いのでは。県内の情報は県からしっかり発信してほしい。</li> </ul>	<p>来年度、県がサンリオと包括的なライセンス契約を締結することを受け、子育て世代に親和性の高いと考えられるサンリオキャラクターを活用した広報やイベント開催を通じ、子育て支援サービス等の発信を行うこととしています。</p> <p>また、令和3年度から県公式LINEにおいてAIチャットボットを導入し、子育ての悩みをいつでも相談できる環境を整備しているほか、本年度は「子育てのタネ」パパの応援ページに家事や育児のヒントとなる情報や活用できる育児カレンダーを掲載するなど大幅にリニューアルしました。令和8年度には父親向け情報誌「イクボン」を改定し、家事育児分担のモデルケースを掲載するなど、記載内容を充実させます。改定したイクボンは、地域子育て支援拠点などから要望の多い紙媒体の作成は継続しつつ、ホームページにも掲載し、SNS広告等を通じた啓発を行うこととしており、こうした取組を通じ、子育て世代への共育への意識啓発を図っていきます。</p>
8	安心3	<p>○認定子ども園運営費について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公費負担8割（国1/2、都道府県1/4、市町村1/4）で保護者負担は2割のうち、国と県の負担分があると想定して良いか。</li> <li>・また出生率が下がっているのに、運営費予算が前年比で増加しているのはなぜか。</li> </ul>	<p>本事業は、大分市を含む県内認定子ども園の運営費を負担するもので、原則として国1/2、都道府県1/4、市町村1/4の負担割合ですが、予算額は県負担分のみとなっています。</p> <p>主な増加要因としては、保育所や幼稚園からの認定子ども園への移行等により対象園が8施設増えたことに加え、保育士の賃上げにかかる経費が本年度から大幅に上昇していることが挙げられます。</p> <p>今後も、引き続き必要な予算を措置し、幼児教育及び保育の充実を図っていきます。</p>

## 第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

9	安心3	<p>○医療的ケア児等支援推進事業、発達障がい児地域支援体制整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな子どもも安心して育てられる環境整備が重要。</li> <li>発達障害の早期発見については、1歳6か月や3歳健診後のフォローも重要になってくるため、支援体制の構築を図っていただきたい。</li> </ul>	<p>1歳6か月や3歳児等健診後の乳幼児に対する早期発見・早期支援に向けて、県ではこれまで、療育に関する支援チームによる巡回療育や、外来での療育、保育所や幼稚園等の職員に対して技術指導を行う施設支援を行ってきました。</p> <p>また、保護者を対象として障がいに対する理解やこどもの行動の捉え方や関わり方を学ぶペアレントプログラムを実施するとともに、障がいの早期支援を促すため、0～3歳児の児童発達支援等の利用に係る保護者負担を全額免除するなど、様々な施策を講じています。</p> <p>さらに、来年度は、5歳児健診を全市町村で推奨するという国の動向を踏まえ、言語の理解能力や社会性が高まり、発達障がい認知される時期である5歳児健診に着目し、健診後のフォロー体制の強化を図ることとしています。</p>
10	安心3	<p>○児童虐待防止対策事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童養護施設の24時間体制維持は非常に大変で、過酷な現状。</li> <li>少しでも多くの助成や支援をお願いしたい。</li> </ul>	<p>児童養護施設は、国の配置基準に基づき必要な職員を配置しており、国と県はその人件費や事務費を措置費として支弁しています。</p> <p>なお、人材確保や職員の負担軽減の観点から、来年度から夜間補助職員の配置に要する費用の一部を新たに助成することとしています。</p> <p>今後とも、施設の要望などを伺いながら必要な施策を検討していきます。</p>
11	安心4	<p>○医療期間医師等支援事業、県立病院対策事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分市内に病院が集中し、救急医療体制も整えられているが、地域で生活を維持していくためには、地域で医療が確実に受けられる環境を作っていくなくては住み続けられない。医師の確保とその働き方改革を両輪で取り組んで欲しい。</li> </ul>	<p>令和6年4月から、医師の時間外労働時間の上限規制が始まり、働き方改革の推進が重要となる一方、安定的な地域の医療提供体制を維持するためには、ご指摘のとおり医師確保の取組を着実に進めることが不可欠と考えており、県では、大分大学医学部地域枠や自治医科大学による、地域医療を担う医師の養成を進め、卒業生を各地域の中核病院やへき地診療所に配置しています。今年度は66名の医師が地域で活躍しているところです。加えて、地域で勤務する医師への研修資金の貸与などにより、地域偏在の是正に取り組んでいます。</p> <p>今後とも、働き方改革の推進と地域で診療にあたる医師の養成に力を入れ、誰もが住み慣れた地域で安心して医療を受けられる体制の確保を図っていきます。</p>
12	安心4	<p>○介護人材の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保に向けて、前回の会議でICT機器導入への手厚い支援を要望した。今回の予算案では、介護テクノロジー導入への補助率の拡充や質の充実をしていただいております、感謝する。</li> </ul>	<p>介護人材の不足が深刻化する中、介護テクノロジーの導入支援を通じて、介護現場での生産性向上を推進することが不可欠であると認識しています。</p> <p>引き続き、県社会福祉協議会との連携を深めながら、これらの取組を進めていきます。</p>
13	安心4	<p>○外国人介護人材確保対策事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定数の外国人の雇用は今後ますます重要となってくる中で、インドネシア送出機関に県内事業所での就労を目指す大分クラスの設置や、新規雇用に要する費用の助成拡充が図られるなど、県の積極姿勢が事業に表れている。今後も連携して取り組んでいきたい。</li> </ul>	<p>外国人介護人材については、送出機関と受入施設双方への支援を強化することにより、優秀な外国人材を安定的に供給できる体制づくりと、受入れの更なる拡大を目指します。</p> <p>引き続き、県社会福祉協議会との連携を深めながら、これらの取組を進めていきます。</p>

第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00

場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

14	安心5	<p>○パラスポーツの普及について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の社会参加、自立の面でパラスポーツの普及は重要。予算案では、体験会等の開催に要する経費への助成やコーディネーターの配置、専門性の高い指導者の育成にも取り組むことになっており、パラスポーツの普及促進に期待している。</li> </ul>	<p>本県が目指す「障がい者活躍日本一」の実現に向け、パラスポーツの普及にも積極的に取り組んでいるところであり、来年度は新たに3つの取組を進めていきます。</p> <p>1つ目は、身近な地域でスポーツに親しめる機会の確保・充実です。競技団体や福祉・就労施設等が主催する体験会等の開催を支援し、地域におけるスポーツ環境づくりをこれまで以上に進めてまいります。</p> <p>2つ目は、体験会に不可欠な指導者の確保です。専門学校生や特別支援学校の教員など専門的知識を有する方を対象とした講座を開催し、新たな指導員の育成に取り組めます。</p> <p>最後に、こうした取組が円滑かつ継続的に実施できる体制の整備です。このため、体験会主催者と指導者等をつなぐコーディネーターを配置するとともに、障がい者スポーツ協会ホームページの改修を行い、情報発信を強化します。</p> <p>今後、こうした取組を通じ、体験機会の拡充と指導者育成の好循環を生み出すことにより、パラスポーツを通じた障がい者の活躍を一層力強く後押ししていきます。</p>
15	安心6	<p>○障がい者芸術推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者アートの商品化支援は重要な取組だが、加えて「展示機会の保障」を制度的に整備することが必要だと考える。県内文化施設が連携し、定期的な巡回展示や合同展を実施する仕組みを構築することで障がいのある方々の創作活動の社会的評価も高まり、文化的包摂の実現にもつながる。</li> </ul>	<p>作品の発表機会については、障がいのある方を幅広く対象とした公募展「ときめき作品展」を県立美術館で実施しており、本年度は509作品を展示しました。</p> <p>また、おおいた障がい者芸術文化支援センターの企画展では障がいのある県内アーティストのすぐれた作品を展示したところ、本年度は5,504名もの来場があり、年々来場者が増えていることから障がい者アートへの関心が高まっていると考えています。</p> <p>県内文化施設における作品展示については、同センターが窓口となり協働しているところですが、委員ご指摘のとおり、障がいのある方の社会参加を進めるためには更なる機会を創出する必要があると考えており、引き続き市町村との協働を進めていきます。</p>
16	安心6	<p>○特殊詐欺等被害防止対策推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用防犯機器の導入支援を書かれているが、これは固定電話に関するものと認識している。今は高齢者の方も携帯電話を持たれているので、機器や防犯カメラ以外にも、有益な被害対策があると良い。</li> </ul>	<p>依然として、特殊詐欺が疑われる電話のうち約3割が固定電話にかかっていることに加え、本補助事業で電話機を導入した家庭からは被害が発生していないことから引き続き固定電話対策に取り組んでいきます。</p> <p>携帯電話の詐欺被害対策としては、携帯電話キャリアが提供する対策アプリの紹介や、警察と連携した警察庁推奨アプリの啓発チラシの配布などを実施しています。</p> <p>引き続き警察等と連携しながら、特殊詐欺被害の防止に向けて取り組めます。</p>

第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
 場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

17	安心6	<p>○夜間の歩行者用反射材の配布について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢歩行者事故防止に向けた反射材の配布があるが、高齢者以外にも就業後にウォーキングされる方や塾や部活帰りの中高生もいるので必要な方は幅広くいる。また反射材のデザインも大事なので、スタイリッシュなデザインを中高生などから募集するのも良いと思う。</li> </ul>	<p>交通事故防止を目的とした総合的な交通安全対策を推進しており、高齢者や子どもを対象とした自転車の安全利用、飲酒運転根絶など、多角的な取組を行っています。</p> <p>その中でも、来年度は特に2025年に多発した夜間の道路横断中高齢歩行者の交通死亡事故を抑止するため、高齢者の身近な存在である地域の調剤薬局を通じて合計12万枚の反射材を配布し、夕暮れや夜間、早朝の時間帯での着用を積極的に促す活動を行います。</p> <p>必要に応じて中高生のアイデアも取り入れながら、高齢者以外も含めた幅広い層へ向けて交通安全意識の向上を図る施策を展開していきます。</p>
18	元気1	<p>○農林水産業労働力支援体制整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自施設の整備を行う際に、働きやすい環境づくりの一環で、エアコン付きユニットトイレを設置した。綺麗なトイレがあることは雇用の面で非常に大きな効果がある。</li> </ul>	<p>中核的経営体が規模拡大を実現するためには、労働力の確保が大きな課題となっており、委員ご指摘のとおり、労働者から選ばれる環境づくりを進めることが重要です。</p> <p>本事業では、夏場の高温下でも快適に作業できるようにスポットクーラーや休憩所など働きやすい就労環境の整備への支援を行うこととしており、こうした取組を通じて、労働者の確保と人材の定着を図っていきます。</p>
19	元気1	<p>○力強い農業経営体育成事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営体規模拡大に向けた外部専門家の伴走支援について、専門家にいくらか費用を支払うのか分からないが、県や市の職員でも十分に伴走してくれると思う。</li> </ul>	<p>農業経営体へは、県普及指導員による栽培指導や市町職員による補助事業支援などを行ってきたところですが、大規模経営体を目指し更なる経営拡大を図るためには、労務管理や財務管理、販路拡大など、それぞれの経営体が直面する課題に対し、的確に対応していくことが必要となっています。</p> <p>本事業では、こうした課題に対し、全国で豊富な解決実績を有するコンサルタント会社を活用し、経営拡大に向けた中長期計画や人材育成計画の作成とその実践を行うことで、更なる経営力の強化と規模拡大を図っていきます。</p> <p>また、コンサルタント会社と県普及指導員が連携し、農業経営体への伴走支援手法をお互い学び、横展開を図ることで、県農業全体の底上げにつなげます。</p>
20	元気1	<p>○農業農村整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業水利施設の改修は待ったなしのところが多く、破裂事故なども起きているため早急な対策が求められる。実際に水が供給されずに耕作を諦めた地域もある。</li> </ul>	<p>県内の土地改良区が管理する基幹的農業水利施設の多くは耐用年数を超過しており、今後10年間で約60kmの更新整備を進める計画です。</p> <p>また、従来の目視での点検に加え、自走式の小型管内カメラなど先端技術も活用し、効率的かつ迅速な施設診断を行っているところであり、突発事故の未然防止に努めています。</p> <p>万一、パイプラインの破裂などによる突発事故が発生した際には、施設管理者である土地改良区等と連携し、補助制度を活用した早期復旧を行うこととしています。</p>

## 第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

21	元気1	<p>○環境変化対応型栽培漁業推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海水温上昇に伴い、魚の生息域が変化し、水産業に混乱を与えている中で高水温等の環境変化に応じた暖海性魚種のキジハタ種苗生産体制の確立に取り組む事業を高く評価する。</li> <li>キジハタを選択した理由を可能な範囲で教えてほしい。</li> </ul>	<p>本県の漁場でも、南方系の魚介類が漁獲されるようになってきたところであり、県の試験研究機関では、こうした変化をモニタリングしながら、高水温でも生息可能なキジハタを含め、有用魚種の探索を行ってきたところです。</p> <p>キジハタについては、これまでの種苗放流試験により高い放流効果が確認されており、高単価であることから、漁業者から種苗生産に対する強い要望があり、新たな栽培魚種として選定を行いました。</p> <p>本事業では、新たな種苗生産施設を活用し、キジハタの大量種苗生産技術と放流技術の確立に取り組むこととしており、漁業者の所得向上を図っていきます。</p> <p>また、タチウオよりも南方系であり漁獲が増加傾向にあるテンジクタチの研究も進めています。</p>
22	元気1	<p>○園芸作物の高温対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化の影響で農業に大きな影響が出ており、遮光等の対策だけでは不十分になってくる。高温対策技術の現地実証試験の実施は非常に良い取組だと思うがもう一歩先に進んだ取組が求められるのではないかと思う。</li> </ul>	<p>近年の高温等の課題に対応するため、遮光資材の導入支援や高温対策技術の実証試験に加え、高温耐性品種の選定にも取り組みます。また、今年度、県の試験研究機関に「スマート・バイオチーム」を設置したところであり、先端技術を活用した研究の加速化を図り、早期の現地普及につなげます。</p> <p>また、収穫から出荷までの品質を保持することも重要です。需要期に戦略的な出荷を行うため、新たな冷蔵技術を活用した長期貯蔵の実証に取り組みます。</p> <p>さらに、夏場の高温下でも快適に作業できるようにスポットクーラー等の導入を支援し、若者や女性、外国人など多様な人材が働きやすい環境づくりを進めます。</p>
23	元気2	<p>○賃上げ対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賃上げ対策の予算を多く組んでいただき感謝。関連して障がい者の方の賃上げについても新たに助成を創設いただいたことも良かった。障がい者の方は、最低賃金法の範囲外になる場合があり、賃上げをした結果、障がい者の賃金を下げる企業もあるため、こうした助成をより多くの企業に活用いただきたい。</li> </ul>	<p>就労継続支援事業所の工賃・賃金向上を図るため、県では本年度から、受注拡大を目指す就労事業所の設備投資や利用者のスキル向上に係る経費を補助しています。</p> <p>来年度は、IT関係や施設外就労といった高工賃分野の上限額を増額するとともに、賃上げ枠及び高工賃チャレンジ枠を設定し、補助率を2/3に引き上げることで、賃金向上に積極的に取り組む事業所への支援を強化していきます。</p>
24	元気3	<p>○県内の冷涼スポットの紹介について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷涼スポットとして、鍾乳洞が挙げられているが、鍾乳洞自体は全国どこにでも存在する資源。PRしていくためには、なにか特徴を示す必要がある。</li> </ul>	<p>ご指摘のとおり、鍾乳洞は全国に存在する資源であることから、単に「涼しい場所」として紹介するのではなく、例えば風連鍾乳洞については、日本最大級の純白な石柱や美しい石筍群といった特性をはじめ、周辺の自然やサウナと組み合わせた唯一無二の体験ができる場所として発信していきます。併せて、標高や気温差などの客観的データも活用し、本県ならではの「涼しさ」の魅力を明確に打ち出すことで、他地域との差別化を図ります。</p>

## 第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

25	元気3	<p>○国内誘客総合推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県観光情報公式サイト充実と、生成AIを利用した県内観光地へのアクセス向上にも繋げてほしい。</li> </ul>	<p>現行のサイトは構築から10年を経過し、検索エンジン対応やレイアウト等が古くなったことから、サイト訪問者数の伸び悩みが生じています。</p> <p>そのため、令和8年度はサイトのリニューアルに係る経費を当初予算で要求しており、先程述べた課題への対応のほか、サイクルツーリズムや自然景観など観光関連の別サイトの統合など、閲覧者がより適切な観光情報を入手しやすいよう改修を行う予定です。また、その中で、AIを活用した情報提供の仕組みも導入する予定です。</p>
26	元気3	<p>○県民による県内周遊について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ終息以降、海外や県外からの宿泊客数は増加傾向である一方、県民による県内旅行は減少傾向にある。国際情勢や為替動向、新たな感染症の発生リスクを考えた場合、県内発の県内観光というのは比較的外部要因による減少リスクも少ないため、もっと後押しする施策があってもいいなと思う。</li> </ul>	<p>県民による県内旅行の促進は、地域経済の循環という観点からも重要な取組であると認識しています。</p> <p>このため、まだ十分に知られていない各地域の観光資源や体験コンテンツの磨き上げを進めるとともに、その魅力を県民の皆様にも積極的に発信し、県内旅行の機運醸成を図ります。県民の皆様身近な地域に新たな発見があると感じていただけるよう、また「改めて訪れてみたい」と思ってもらえるような仕掛けづくりに取り組めます。</p>
27	元気3	<p>○観光推進体制の再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界に選ばれる観光県を目指し、ツーリズムおおいと官民一体となったことは時を得たと思っている。データ活用を含め、諸外国としっかり連携できる体制になったのではと思う。</li> </ul>	<p>観光推進体制については、県域DMOであるツーリズムおおいと県の役割分担を明確にし、データやマーケティングに基づく戦略的な取組を強化しているところです。オフィスの県庁内移転などにより官民の連携を一層緊密化し、海外市場も見据えた情報発信や関係機関との連携を進める体制を整えました。今後とも、世界に選ばれる観光県の実現に向け、機動的かつ効果的に施策を推進していきます。</p>
28	元気3	<p>○地域マネジメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分県には地域ごとの魅力がたくさんある。地域同士を繋いで魅力ある広域な地域として、地域マネジメントする役割を、ツーリズムおおいと県が一体となって担っていただきたい。</li> </ul>	<p>本県には地域ごとに多彩な魅力があり、それらをつなぎ、広域で価値を高めていく視点が重要です。このため、県とツーリズムおおいとが一体となり、マーケティングに基づく戦略立案と地域マネジメントを強化します。市町村や観光関係者に寄り添いながら、地域資源の高付加価値化や広域周遊の促進を図り、持続可能な観光地域づくりを推進していきます。</p>
29	元気3	<p>○国内旅行への注力について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド旅行者に注目されがちだが、国内旅行者も重要。地元民がリピーターになっていくのも地域にとっては良い形。いまこそ国内旅行に対する施策も力を入れていただきたい。</li> </ul>	<p>観光振興においてはインバウンドのみならず、国内旅行需要の確実な取り込みも極めて重要です。県民や近隣県の皆様繰り返し訪れていただくことは、安定した観光消費の創出と地域への愛着醸成の面でも大きな意義があります。インバウンド対策とあわせて、国内市場に向けた情報発信や体験型観光の充実などにも一層力を入れ、需要の拡大と平準化を図ります。</p>

第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
 場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

30	元気4	<p>○多文化共生推進事業について                  ・2026年4月から自転車のルールが大きく変わることについて、多言語化がまだ十分ではない。</p>	<p>本年4月1日から開始される自転車の交通反則通告制度の外国人への周知については、現状、制度導入に関する英語版・中国語版のチラシや自転車の基本的な交通ルールをまとめた韓国語・ベトナム語等8言語版のチラシを活用して、広報啓発や交通安全教育に取り組んでいるところです。                  多文化共生を推進するため令和8年度に改修する外国人向け情報サイトは、27言語に対応予定です。自転車のルールも含めた交通マナーについてもサイトで情報発信します。                  また、今年度から実施している外国人支援団体と連携した生活・マナー研修の中で日本のルールや法律の勉強会も引き続き実施します。</p>
31	元気4	<p>○外国人の地域文化への参加について                  ・県内には技能実習生や留学生がたくさんいる。彼らが地域文化に参加できる仕組み、地域文化を通して地域定着を促す政策が必要。</p>	<p>令和8年度に配置予定の外国人共生コーディネーターが、相談対応だけでなく地域の情報発信等を行うこととしています。外国人が地域の文化等に触れる機会を増やし、定着につなげていきたいと考えています。</p>
32	元気4	<p>○多文化共生推進事業について                  ・各振興局に「外国人共生コーディネーター」を配置いただけるということで是非、地域に合った支援をしていただきたい。</p>	<p>身近な地域で寄り添った相談対応ができるよう、外国人留学生OB等を地域おこし協力隊として、中部振興局以外の5局に秋ごろから配置します。コーディネーターには、対面による相談対応だけでなく、アウトリーチによるニーズの掘り起こしや、外国人の地域活動参加支援なども担っていただきます。</p>
33	元気4	<p>○外国人の在留資格の手数料について                  ・在留資格の手数料が値上がりする話が出ている。人件費が上がっていく中で外国人を雇用している企業の負担も増えている。さらに、留学生は自費で資格更新の手数料を払っているため、そうした手数料の支援をお願いする。</p>	<p>在留資格の更新手数料は国が定めるものであることから、県で回答できかねるが、問題意識としては持っておきます。</p>
34	元気5	<p>○小規模事業者の生産性向上支援について                  ・中小企業等業務改善助成金に対する県独自の奨励金制度を導入いただいているが、経営環境が特に厳しい小規模事業者に特化した制度についても検討してほしい。                  ・また、小規模事業者持続化補助金は、経営改善に資する中心的な支援施策。県商工会経営指導員の積極的な活用推進もあり、2年連続で採択件数が全国1位となった。                  県による上乗せなどの拡充による更なる生産性向上支援をしていただきたい。</p>	<p>小規模事業者の持続的な成長のためには、生産性の向上が不可欠であると認識しており、県としても様々な施策を通じて支援に努めているところです。                  国の小規模事業者持続化補助金は、補助率が2/3で、特に賃金引上げ特例に該当する赤字事業者に対しては、補助率が3/4まで引き上げられる制度となっており、本県独自の支援制度である「賃上げ枠」と同等の支援内容となっています。                  県では、今後も引き続き、小規模事業者の皆様の生産性向上に向けた支援の充実を図ります。</p>

第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00

場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

35	元気5	<p>○物価高騰対応プレミアム商品券支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品券事業は効率化の観点からデジタル化は避けて通れない。デジタル化は初期コストもかかり、ノウハウも必要で、かつ各市町村の対応がバラバラである状況。合成の誤謬で、県全体で大きな無駄が生じているのではと勘案する。中長期的な、効率的な観点からは、県がその全体整備までを踏み込んでサポートすることが必要なのではないかと。</li> </ul>	<p>本県のプレミアム商品券支援事業は、コロナ禍や物価高騰時など、県内消費の下支えを通じた地域経済の活性化が必要な局面において、商品券の発行等を行う市町村にプレミアム分や事務費の一部を補助する形で実施してきました。</p> <p>プレミアム商品券の発行形態（紙、デジタル、もしくはハイブリッドのいずれか）については、各市町村が、住民の声や利便性、地域の対象店舗の実情などを考慮し、最適な手法を採用しているところです。</p> <p>プレミアム商品券の発行におけるデジタル化は、消費者の利便性、対象店舗の生産性の向上につながるとともに、事務の効率化にも寄与することから、県としては、市町村の意向を尊重しつつ、事例の共有や補助制度を通じて、デジタル化を積極的に支援していきます。</p>
36	元気5	<p>○男性育休支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男性育休事業において、代替要員の確保だけでなく、同僚の応援手当支援をしていることが素晴らしい。育休取得者の同僚への支援が非常に重要である。</li> </ul>	<p>男性の育休取得が進まない理由として「周囲の負担が増えること」が多く挙げられていることを踏まえ、令和6年度から実施している男性育休取得促進助成金に、令和8年度当初予算にて、新たに「同僚応援手当加算」を予算措置しました。</p> <p>男性の育休取得率は、従業員300人未満の事業所で低い傾向があるため、本助成金の対象は中小企業等に限定していますが、こうした助成金をきっかけとして、同僚支援の取組が県内全ての企業へと広がっていくことを期待しています。</p>
37	元気5	<p>○女性活躍について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍に関連する事業が継続で喜ばしい。関連事業に参加した方が、企業等にフィードバックしていくことで女性活躍もさらに推進されていく。</li> </ul>	<p>今年度は、女性リーダー育成研修（ウーマンアカデミア）の成果発表会に併せ「女性活躍応援県おおいた共創フォーラム」を11月に開催し、女性と経済界代表等との意見交換を行いました。</p> <p>ウーマンアカデミアは、実践的な学びと異業種との交流が、受講者や派遣する企業に高く評価されています。</p> <p>来年度はこれまでの受講生を交えた交流会を新たに開催する予定としており、女性のネットワークづくりや、女性が働きやすい職場づくりに向けた企業のさらなる取組促進につなげていきます。</p>
38	元気5	<p>○女性活躍について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一旦キャリアを中断した女性をどうやって社会復帰をしてもらうかが、これからの県の未来創造にも重要。予算案の中ではそういった事業が見受けられなかった。</li> </ul>	<p>予算概要には明示されていませんが、県では、女性が働きやすく活躍できる職場づくりに取り組む企業への補助を行っています。来年度も引き続き、女性の健康課題に対する支援や、柔軟で多様な働き方ができる職場環境づくりに取り組む企業への補助により、再就職を希望する女性が働きやすい職場づくりを推進していきます。</p>

第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00

場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

39	元気5	<p>○女性活躍のロールモデルの可視化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍の分野においては、ロールモデルを可視化することが重要。進行形の事業や過去の事業など、事業のロールモデルも県にたくさんの蓄積があり、特にスタートアップの事業では50名を超えるロールモデルも出ている。そういった実績を再度可視化して、そこを目指す女性に届くような取組をしていただきたい。</li> </ul>	<p>県では、「大分県女性のチャレンジ賞」という表彰制度を設けており、毎年、起業や地域活動など、さまざまな分野に挑戦し、活躍している女性個人や団体（3組程度）を、女性のチャレンジの身近なロールモデルとして県民に示しています。今年度は、学生と女性活躍に積極的な企業との交流イベント「キャリアフェス」の中で表彰式を開催し、若い世代を含めたより多くの方に知っていただく機会となりました。引き続き社会での活躍を希望する女性の後押しができるよう取組を進めていきます。</p>
40	元気5	<p>○魅力的な地域づくり、街づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本銀行の調査で、県内で働いていた20～30代女性の県外転出後の就職状況を調べているものがあり、結果として、県内在住時と同業種についている方が多かった。これは、県外転出の理由が職がないということではなく、地域や街の魅力づくりから力を入れる必要があるのではと感じた。</li> </ul>	<p>若年層・女性の定着に向け、移住・定住対策に加え、魅力ある雇用の創出、結婚・出産や子育て環境の充実、女性が輝き活躍できる社会づくり等を推進し、働きやすい・暮らしやすい地域づくりを進めていきます。</p>
41	元気6	<p>○しいきアルゲリッチハウス活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際的芸術資源として非常に価値の高い拠点。音楽事業の活用にとどまらず県内の文学館・記念館・美術館等と連動した「文化拠点ネットワーク」としての展開を検討いただきたい。</li> <li>例えば、音楽・文学・美術を横断した「文化月間」の創設や各文化施設の共同企画などを制度的に位置づけることで、県全体の文化力向上につながると思う。</li> </ul>	<p>しいきアルゲリッチハウスは、令和8年9月から音楽文化の発信拠点となる大分県立アルゲリッチ記念館として運用していきます。この施設は、音楽文化の発信はもちろん、アルゲリッチ氏の顕彰、若手音楽家の育成や教育その他の分野との連携などを進めるものとなります。そのため、隣接する別府市図書館との連携などを検討しており、他分野との連携も検討していきます。</p>
42	元気6	<p>○地域の文化財掘り起こしについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化財や歴史を、地元の人たちに、特に子ども達に知ってもらうことは地域の魅力を高めることに繋がる。県内には、歴史博物館や埋蔵文化センターなどがあり、さらに市町村にも歴史資料館などの施設がある。そういった施設と連携して、文化財の掘り起こしをするのも良いと思う。</li> </ul>	<p>県の施設である歴史博物館、先哲史料館、埋蔵文化財センターは、市町村の歴史資料館等と連携し、所蔵資料を相互に利用することで、魅力的な展示づくりに取り組んでいます。加えて、大分県の歴史文化の魅力を広く発信することを目的に、県内の社会教育施設や図書館等における出張展示も実施しています。</p> <p>また、先哲史料館の事業である「子ども地域チューバー」プロデュース大作戦では、子どもたちが地域の歴史、自然、文化を学び、その成果をPR動画や展示を通じて発信することで、活力ある地域づくりに寄与しています。</p> <p>今後は、大友宗麟生誕500年を迎える令和12年に向け、宗麟ゆかりの地である大分市、臼杵市、津久見市の3市と県が連携し、宗麟ゆかりの文化財を活用した展示などの様々な取組を計画しています。</p> <p>県内には、貴重で有意義な歴史的価値を持つ文化財が数多く存在します。これらの価値をより多くの県民の皆様にお伝えし、関心を持っていただけるよう、市町村と連携を図りながら普及啓発活動を推進していきます。</p>

## 第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

43	未来創造1	<p>○東九州新幹線等広域交通推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の国交省予算に「基本計画路線に係るケーススタディ」が計上されるなど広域交通ネットワーク整備推進の絶好のチャンスとなっている。シンポジウムや県民向けの情報発信など、県事業も進めていただきたい。</li> <li>・関東圏、関西圏を対象に、豊予海峡ルートや広域交通の認識調査をしており認知度は上がってはいなかったが、整備の必要性は、2/3の方が賛成をするという結果になった。整備効果の正しい情報発信やマスコミを活用した認知向上が効果的である調査研究も出ているので、取り組んでほしい。</li> </ul>	<p>東九州新幹線がケーススタディに選定されるよう、早速1月に、4県1市全ての首長や議長等と一緒に国土交通省を訪問し、強く要望を行いました。整備計画路線への格上げに向け、引き続き、関係県・団体と連携し、国等に強く働きかけます。</p> <p>また、県民や高校生を対象とした広域交通のアンケート調査では、若い世代の期待が高かったものの、効果等の認知度が低かったため、来年度は、イベントへの出展やSNSの活用等に積極的に取り組み、さらなる理解促進・機運醸成を図ります。</p>
44	未来創造1	<p>○大分空港の利便性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローキティ空港の愛称で非常に魅力的になっている大分空港をより海外の方に利用してもらえよう、羽田や成田、関空などからストレスなく入ってこられるような地方空港の充実を図ってほしい。</li> </ul>	<p>本年3月に供用開始された国内線ターミナルビルの拡張により、施設の利便性や駐機場の運用効率等が高まることから、さらなる新規路線の誘致や増便に取り組めます。</p> <p>また、ホーバークラフトの空港アクセス便については、本年4月から1日10便に増便されるほか、引き続き夜間航行を含めた更なる増便を進め、空港アクセスの改善を図ります。あわせて、旺盛なインバウンド需要も取り込むべく、好調な周遊便を5月頃から空港側でも開始する予定です。</p> <p>こうした取組とともに、来年度継続される「大分ハローキティ空港」の取組による空港の魅力づくりも推進します。</p>
45	未来創造2	<p>○移住者就業スキルアップ支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市の職員として働くという手段についても大いにPRすべき。</li> </ul>	<p>都市部から過疎地域などに移住し、地域活動を行ってもらおう「地域おこし協力隊」という国の制度があり、市町村で活用が進んでいます。県でもR8秋に、各振興局に地域おこし協力隊を配置し、高齢化集落対策や移住促進の業務に従事します。移住希望者にも積極的にPRしていきたいと考えています。県人事委員会では、県外事務所（東京・大阪・福岡）での採用説明会の開催等に加え、インスタグラムなどのSNSを活用した公務の魅力発信を行っています。</p> <p>また、県が開催する移住相談会では、県・市町村職員の採用案内を配布するほか、各市町村もブースで紹介を行っています。さらに、県と市町村とで人材確保を議論する検討チームにおいて、今後、県外在住者向けの連携した取組についても検討していきます。</p>
46	未来創造2	<p>○二拠点居住のインセンティブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転勤族の方と接する機会が多いが、大分県は住みやすいと評判。そうした大分県のアドバンテージを活かして、移住に限定することなく、二拠点居住のインセンティブを高めていくことも必要。</li> </ul>	<p>二地域居住は、地方への人の流れを生み出し、地域の消費拡大や地域活動の担い手確保が期待されるものであり、県内では今年度、由布市が都市部の企業に対してのニーズ調査や受け皿となる由布院地区の空き家の把握等を進めるなど、一部団体で取組が始まっています。</p> <p>県では、取組の主体となる県内市町村とともに、国や他県の動向を注視するとともに、二地域居住の拡大に意欲的な市町村を、必要に応じて総合補助金等で支援します。</p> <p>また、総務省でふるさと住民登録制度が開始される予定です。このような取組も利用しながら、二地域居住の関心も高めていきます。</p>

## 第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00

場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

47	未来創造3	<p>○国内排出権取引について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度から、排出権取引が本格導入されるため、県内でも取引を行う企業が増えてくるのではないかと思います。排出権取引に積極的に取り組めるような施策の検討をしていただきたい。</li> </ul>	<p>「大分グリーン事業者認証推進事業」の一環として、新たに金融機関、支援機関、企業団体等と連携したコンソーシアムを設立します。このコンソーシアムでは、中小企業向けに脱炭素化に関する情報共有を行い、その取組を加速させていくことを目的としています。排出権取引についても制度の動向や県内外の取引状況等の情報提供を行うことで、県内企業における更なる取組を促進していきます。</p>
48	未来創造3	<p>○おおいたグリーン事業者認証推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料費の高騰や賃上げ等による収益影響への対策施策が多くなっているがカーボンニュートラルの取組による企業価値や競争力向上も併せて重要。おおいたグリーン事業者認証推進事業により省エネ機器の導入によるコスト削減や競争力強化は企業収益に寄与する。現在の認証事業者は195であるが、引き続きの事業の周知徹底に加え、申請手続きのサポート強化等にも努めていただきたい。</li> </ul>	<p>おおいたグリーン事業者認証を受けた中小企業等の省エネや再エネ導入の取組を支援しており、商工会などの支援機関にもその周知に協力をいただいているところです。</p> <p>来年度は、断熱、遮熱など様々な技術を活用した省CO<sub>2</sub>の取組支援を強化します。設備導入等を検討する事業者には、新設する省CO<sub>2</sub>アドバイザーを派遣し、技術的な助言を通じて補助申請などをサポートしていきます。</p> <p>また、金融機関と連携したサステナブルファイナンスを推進していく予定です。支援機関、金融機関、企業団体と連携し、事業の一層の周知と活用促進に努めていきます。</p>
49	未来創造4	<p>○DXの取組支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DXの取組は小規模事業者にとっても経営改善に重要な要素となるが、DX人材を雇用する資金的な余裕がない。中小企業等DX総合支援事業によるコンサル伴走支援やデジタルツール導入経費の助成等は大変心強い施策。今後も継続実施とともに予算拡充等を希望する。</li> </ul>	<p>中小企業等のDXを推進するため、各社の課題に応じたきめ細かな支援体制を構築するとともに、デジタルツールの導入やデータを活用した経営改善の取組等、総合的な支援を行いたいと考えております。</p> <p>引き続き、中小企業・小規模事業者の経営力強化に貢献できるよう、DXへの取組を強力にサポートしていきます。</p>
50	未来創造4	<p>○衛星データの活用事業の助成拡充について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛星可視画像データを活用した研究をする際に、データから大気の影響を除去する技術がなく、研究が中座している。衛星データを活用した自然災害の予測といった防災事業や研究に挑戦したいという企業への助成・支援をお願いしたい。</li> </ul>	<p>宇宙ビジネスが盛り上がる中で、衛星データを利活用したビジネスも、近年急速に盛り上がりを見せています。</p> <p>そこで、県では、令和6年度から、人工衛星等の宇宙機器の製造や衛星データの利活用について、研究・実証等を行う県内中小企業に対して、上限200万円の補助を行っています。今年度は、衛星データを用いて建築物の検知を行い、固定資産評価額の算定を行う検証事業など、衛星データの利活用に挑戦する企業を支援しております。委員からご意見のありました研究項目については、当該支援事業の対象になると考えられます。引き続き、県内企業による衛星データ利活用に係る実証支援を行ってまいりますので、そのような研究を行う企業がありましたら、ご相談いただければと思います。</p>

## 第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

51	未来創造5	<p>○遠隔教育システム構築事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔教育は学力保障の面で有効かつ、地域の文化資源を活用することで郷土愛や主体的な学びを育む機会を創出できる。具体的には、地域の偉人をテーマに探究型学習の導入や記念館等を遠隔授業のフィールドとして活用する仕組みがある。</li> <li>学力向上の手段だけでなく「地域を知る教育」の視点を取り入れて欲しい。</li> <li>大分県に住む外国人として、地域文化が世界とつながる可能性を日々感じている。遠隔教育には「多文化視点」を組み込んでほしい。</li> </ul> <p>例えば、郷土人物を海外と比較する授業や地域偉人を多言語で発信する教材か、海外オンライン講習など。「自分の地域を世界に説明できる力」を育てる視点が必要。</p>	<p>こどもたちがデジタル技術やネットワーク技術を活用して地域の文化遺産を体験することは、郷土への理解を深める上で有意義な取組だと考えます。令和6年5月には、郷土の歴史や文化を楽しく学べるウェブサイトとして、「おおいた文化財ずかん」を立ち上げています。その中には、国や県指定の文化財や市町村ごとの先哲の映像などがあり、小学生向けの平易な解説文も盛り込むなど、子どもたちが主体的に学ぶことができるように工夫をしています。</p> <p>また、グローバル人材育成事業の中で、台湾の高校とオンライン交流を行い、多様な価値観に触れ他者を尊重する態度や、英語でコミュニケーションを図る力の育成に取り組んでいます。今後もどのような取組ができるか、検討していきます。</p>
52	未来創造5	<p>○いじめ対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ対策について、ビジョン2024には記載されているが、今回の予算案には関係事業が書かれていなかった。SNSが絡んだ犯罪や被害が増えており、全国ニュースにもなるような事案も発生している。加害者・被害者以外の学校全体に対する配慮も必要になってくるため、様々な専門家の力が必要になってくる。</li> </ul> <p>これまでに想定していなかったいじめも発生してくる。そういった事案への対策予算の措置もお願いしたい。</p>	<p>いじめは、未然防止だけでなく、早期発見・早期対応も同様に重要です。今回の大分市の事案では、半年以上前の事案が学校側に伝わっていなかったという点が問題であり、被害生徒や目撃した生徒が安心して声をあげられる仕組みづくりが重要だと考えています。LINEやメールなど様々な手段で通報できる仕組みを構築しており、活用に向けて改めて周知するとともに、動画拡散による二次被害等の懸念も踏まえ、情報モラル教育にもしっかりと取り組んでいきます。</p> <p>また、暴力行為や外部侵入など子どもの安全・安心を害する事案への対策を強化するため、令和7年度補正予算案に、新たに県が定める「大分県立学校における『あんしんカメラ』の設置等に関するガイドライン」に基づき、設置要件を満たす県立学校内に児童生徒の安全確保を目的としたカメラを設置するための予算を計上しています。</p>
53	未来創造5	<p>○未来を創る学力向上支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度当初予算額から774万円程度増額となっているが、その額でAI英語アプリを導入するのか？</li> </ul>	<p>R7年度当初予算額からの増額分については、AI英語アプリの導入によるもの以外に、英語教員の指導力向上に向けた協議会の開催経費等も含めたものです。AI英語アプリの導入については国の事業を活用して、中学2年生を対象に、県内3校の中学校にモデル的に導入する予定となっています。今後AI英語アプリの導入による、低学力層の支援及び中・上位層の一層の英語力の育成等について検証し、その成果を横展開していきます。</p>
54	未来創造5	<p>○運動部活動地域展開推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>兼業兼職で指導してくれる教職員もいれば、外部コーチとして活動してくれる民間の方もいて、部活動そのものの存続や意義がどうなっていくのか注目していかなければならない。</li> </ul> <p>いつまでも助成ができるわけではないので、完全にクラブチームとして運営できる環境づくりや競技力の向上も併せて支援していくべき。</p>	<p>国が策定した新たなガイドライン（R7年12月）では、休日・平日の部活動のあり方とともに、地域クラブ活動のあり方（認定制度等）についても提示しています。</p> <p>また、国は、認定された地域クラブが休日のクラブ活動に要する経費（人件費、諸謝金等）に対し、補助する事業も実施予定です。部活動の地域展開に向け、休日の地域クラブの活動費支援や地域クラブの運営支援など、クラブの持続的・安定的な運営に向けた市町村の取組を国の事業を活用しながら、支援していきます。なお、競技力の向上については、競技団体と連携を図りながら取り組んでいきます。</p>

## 第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

55	未来創造5	<p>○県立高校未来共創事業、私学振興費について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立、私立問わず、探究学習の充実は非常に大切であり、方向性は支持する。地域と連携した探究学習の企画等を行うコーディネーターの資質が、活動の成功の鍵となるため、積極的な配置充実に期待したい。</li> </ul>	<p>県立高等未来共創事業では、個々の興味関心に基づく探求の質の向上を図るよう、学校と地域をつなぐ地域コーディネーターを配置することとしています。地域コーディネーターには、市町村が雇用する地域おこし協力隊として勤務する人材や協力隊の経験者、高校や地域の状況を把握する学校運営協議会委員を想定しています。地域コーディネーターが配置されている高田高校では、1・2年生の探究学習の年間計画や授業設計、地域人材や民間企業との接点づくり等を行うなど、地域の特色を活かした教育活動や探求学習が充実しています。その成果を踏まえ令和8年度については、5校に配置し地域資源を活用した探求的な学びの充実を推進していきます。</p> <p>また、私立高校については、企業等と連携して探求授業が実施可能となるよう外部人材活用のための委託経費も勘案し、必要経費を支援することとしています。</p>
56	その他	<p>○当初予算案全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な支出が増加していく中で、県債残高を抑制し、財政規律を意識した予算案となっており、サステナブルだと高く評価している。</li> <li>一方で、人員確保が難しくなる中で、例えば5年後、7年後のあるべき人員数を示し、更なるスリム化やデジタルによる効率化を加速させることで中長期的な総人件費の圧縮に繋がるのではと考える。</li> </ul>	<p>日銀の政策転換や物価上昇等に伴い金利が上昇する中、ビジョンに掲げる施策を積極的に推進し、必要な投資を行っていくためには、県債の適正管理など安定的な財政基盤の構築がこれまで以上に重要となります。</p> <p>そのため、人口減少の進行など今後見込まれる社会の変化を踏まえ、スクラップ・アンド・ビルドの徹底や有利な財源の活用、DXによる行政の効率化・高度化など引き続き「行財政改革推進計画」に基づき、中長期的な視点で歳入・歳出両面から財政の健全性確保に向けた取組を進めていきます。</p>
57	その他	<p>○当初予算案の資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入にかかる子細な資料がなく、県の財政収支を把握した上で意見を出すのが大変だった。また一般的な会社の科目と異なる用語のため、調べながらの資料確認となるため、わかりやすい資料作成をお願いしたい。</li> <li>・（公）と（単）の記載は、国庫事業と県単独事業であることが調べると分かった。費用負担の割合等の記載がないため、可能であれば、国庫○/○、県○/○と記載するのはどうか。</li> </ul>	<p>予算（案）の公表については、令和5年度より主な事業を記載した概要版を作成する県民に伝わりやすい資料の作成に取り組んでいるところですが、可能な限り一般的な用語を活用するなど引き続きわかりやすい資料作成に努めていきます。</p>
58	その他	<p>○教育費について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育費の主な内訳が教職員の人件費であり、設備費や事業費は少ないため土木建築部や農林水産部の公共事業のようにカッコ書きで、うち人件費と記載するのはどうか。</li> </ul>	<p>各部局ごとの事業費、人件費については、別途各部局ごとの予算概要を作成し明記しているところですが、引き続き必要な情報を丁寧に説明していくよう努めます。</p>

## 第5回「安心・元気・未来創造ビジョン2024」推進委員会 委員意見一覧

日時：令和8年2月20日（金）14:00～16:00  
場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

議事：令和8年度当初予算案について

59	その他	<p>○成果目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業を記載いただいているが、それぞれ具体的な成果目標を立てているのか気になった。しっかり目標を立てて事業を進めていただきたい。</li> </ul>	<p>事業の実施にあたっては、各事業ごとにビジョン2024の実現に向けた具体的な成果目標を設定し、毎年度その成果や進捗状況を評価・公表する行政評価を実施しています。</p> <p>成果目標は可能な限り具体的な指標とし、数値による定量的な評価を行うとともに、行政評価の結果については、評価実施年度の翌年度以降の政策等に適切に反映させ、行政サービスの質の更なる向上やビジョン2024の政策目標の達成につなげていきます。</p> <p>引き続き、各指標の適切な設定に努めるとともに、各事業の成果やその取組状況については、ビジョンの進捗状況として本委員会でも報告させていただきたいと考えています。</p>
60	その他	<p>○県HPのAIチャットボット導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのHPでは、見たいページにたどり着くのに時間を要してしまうため他の生成AIで調べていたが、今後は県のAIチャットボットを利用する。各分野・外郭団体等での活用も同時に行い、DXを加速させ、職員の負担軽減にも繋げられるのではと思う。</li> </ul>	<p>県のホームページでは、九州では初となる生成AIを活用したチャットボットを2月19日から試行運用しています。このチャットボットの導入により、県民等が求める情報へのアクセスが大きく改善されるほか、閉庁時でも必要な情報を得ることができます。また、会話のログから県民の関心や困りごとを把握し、県の施策に反映させることも可能になるほか、ホームページの充実にもつながります。今後とも、県民サービスの向上と職員の業務改善に取り組んでいきます。</p>